

指定管理者が行う公の施設の管理状況報告(令和2年度分)

<県の評価等>

施設所管部名

地域連携部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県立ゆめドームうえの(伊賀市ゆめが丘一丁目1番の3)
指定管理者の名称等	日本環境マネジメント(株) 代表取締役 片山安茂
指定の期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆめドームうえのの設置目的を達成するために必要な貸館事業及び指定管理者の自主事業の実施に関する業務 ・ゆめドームうえのの施設等の利用の許可等に関する業務 ・ゆめドームうえのの利用料金の收受等に関する業務 ・ゆめドームうえのの施設・設備の維持管理及び修繕に関する業務

2 施設設置者としての県の評価

※指定管理者が変わった場合、令和元年度の評価は斜線を記入しています。

評価の項目	指定管理者の自己評価		県の評価		コメント
	R1	R2	R1	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B	+		新型コロナウイルス感染予防対策をガイドラインに則り実施し、安心安全な施設運営を行っている。また、三重とこわか国体に向けて内製化できる修繕についてはリストアップし実施するなど、施設の効果的、効率的な管理・運営に努めており、適切に業務を実施したと評価できる。
2 施設の利用状況	B	C			年間施設利用者数は60,997人(119,547人)、施設利用率は83.0%(91.9%)、競技場(火曜日昼間)利用率は50.0%(63.5%)となっており、令和元年度と比較して特に年間施設利用者数が大幅に減少した。 ※()の数値は令和元年度
3 成果目標及びその実績	B	B			年間施設利用者数は、目標値105,000人に対し実績値60,997人、施設利用率は目標値85.0%に対し実績値83.0%となったものの、競技場(火曜日昼間)利用率は目標値45.0%に対し実績値50.0%で目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症の影響による大会等のキャンセルに対し、施設の空き状況を広く周知するなどにより、施設の利用向上に努めたことは評価できる。

※「評価の項目」の県の評価 :

「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。

総括的な評価	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防の対策として、施設利用後にこまめに消毒を行ったり、換気をよくするため、トレーニング室等にサッシの形状にあわせた網戸を自ら工夫して設置するなどし、対策を徹底した。また、緊急事態宣言下では、休館に伴う利用者への連絡、問い合わせに丁寧に対応し、再開後に備えるなど、状況に応じて安心安全な施設運営に努め、適切に管理されているものと評価する。</p> <p>特に、管理業務については以下の通り実施され、施設の設置目的である「県民の心身の健全な発達および体育・スポーツの普及振興を図るとともに文化の向上等」の達成に向け、取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の維持修繕を行い、施設を良好な状態で維持管理している。 ・窓口、電話でのきめ細かな対応を行うなど、公の施設であることを十分に意識し、誰もが平等に利用できるよう努めている。 ・危機管理の取組として、指定管理者独自でも危機管理マニュアルに基づき、災害時の対応に不備のないよう訓練を行っている。 ・利用者アンケートに基づき、自主事業で新規講座を始めるなど、利用者の声を事業等に反映するよう努めている。 ・人権やハラスメントの啓発、情報公開や個人情報保護について、適切に取り組んでいる。 <p>その他、ホームページやフェイスブック等による積極的な情報発信や、自主事業である各種教室の充実、ファミリーデー、スポフェス@ドームの開催等により、利用促進に努めた。</p>
--------	--

<指定管理者の評価・報告書(令和2年度分)>

指定管理者の名称: 日本環境マネジメント株式会社

1 管理業務の実施状況及び利用状況

(1) 管理業務の実施状況

① 管理運營業務の実施に関する業務

・指定管理4年目の令和2年度は、コロナ禍のもと、感染予防対策に最重点を置きながら、利用者が安全に施設を利用できるよう諸事業に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月15日より5月17日まで全館臨時休館となりましたが、休館中は、休館に伴う利用者への連絡、問い合わせ対応などを行い、また、普段手入れが行き届きにくい施設周りの維持管理業務に努めました。

感染予防対策としては、手指消毒液、非接触型体温計、飛沫感染予防設備の設置、利用者の体調チェック表の運用等のほか、換気対策として、トレーニング室、軽運動室、会議室の窓枠に網戸を設置し、夏場も虫の侵入を抑制しながら十分に換気を行えるようにしました。

・貸館事業は、年間施設利用者数 60,997人(前年度比58,550人減、目標105,000人)、施設利用率 83.0%(前年度比8.9ポイント減、目標85.0%以上)、火曜日昼間の競技場利用率 50.0%(前年度比13.5ポイント減、目標45.0%)となり、新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度実績を大きく下回りました。

・自主事業(イベント)は、8月に「夏のスペシャル企画」として、第二競技場にて卓球、バドミントン用に施設を開放し、誰もが競技に触れて楽しむことのできる企画を実施しました。11月には三重県、伊賀市スポーツ推進課の協力のもと、1階ロビーにて「東京2020オリンピック聖火ランタン」の展示を行い、終日1,900人が観覧しました。12月にはスポーツフェスティバルを開催、1月には三重とこわか国体推進イベントとして「第1回ゆめドームうえのカップキンボールスポーツ大会」を開催しました。

・自主事業(教室事業)は、年度途中の開講・終講合わせて19講座を実施しました。

4月より新規講座として「月曜日のZUMBA」「ど根性!ピラティス」「ZUMBA GOLD」「フラトレ」をスタートしましたが、4月15日以降の休館に伴い、6月末まで全ての講座を開催中止としました。7月より再開しましたが、コロナ禍による自粛ムードは改善せず、自主教室の延べ参加人数は、3,925人で令和元年度(7,760人)より49.4%減となりました。

・トレーニング室は、487人の新規登録があり、累計登録者数は2,719人となりました。年間の総利用者数は6,665人で、営業日1日当たりの平均は22.4人と、令和元年度(40.3人)に比べて大きく減少しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月1日より5月31日まで休室としました。6月1日より再開しましたが、感染拡大防止のため、1回1時間以内とし、利用人数についても10人と、制限を設けながらの再開のため、利用者数は伸びませんでした。

② 施設及び設備の維持管理及び修繕に関する業務

令和2年度は主に、会議室空調の室外機修繕、男子更衣室の給湯器の取替、誘導灯設備修繕を行いました。空調設備の故障も発生しましたが、修繕が完了するまで、ファンヒーターの購入、設置により対応しました。

また、内製化できる修繕については、三重とこわか国体に向けてリストアップし、計画的に小規模修繕を行いました。

③ 県施策への配慮に関する業務

・「三重県立ゆめドームうえのの管理協定に関する基本協定書」第6条に基づき、次の通り取り組みました。

① 人権尊重社会の実現として、個人情報保護研修(7/17)や「企業と人権」をテーマにした人権研修(10/23)を実施しました。

② 持続可能な循環型社会の創造に向けた環境保全活動として、省エネ仕様の自動販売機8台を継続的に設置しています。また、令和2年度に当施設で使用された電力は、温室効果ガス調整後排出係数0.0kg-CO₂/kWhでした。

③ ユニバーサルデザインのまちづくりとして、バリアフリー仕様の自動販売機1台を継続的に設置しています。

④ 県内在住者、県内観光客の情報入手利便性の向上を図るため、Wi-Fiアクセスポイントは引き続き「Free-Wi-Fi-MIE」としています。

⑤ 三重県のスポーツ推進月間に合わせ、9・10月に「トレーニング室ポイントキャンペーン」を実施、11月14日には1階ロビーにて「東京2020オリンピック聖火ランタン」を展示しました。12月5・6日にはスポーツフェスティバルを実施し、卓球とバドミントンの利用を無料開放し、2日間で113人が利用しました。

⑥ 三重とこわか国体推進イベントとして、デモンストレーション競技の「第1回ゆめドームうえのカップキンボールスポーツ大会」を1月31日に実施しました。

④ 情報公開・個人情報保護に関する業務

・令和2年度中の情報公開の開示請求はありませんでした。

・個人情報の保護については、その重要性を認識し、業務の実施にあたっては、クリアデスク・クリアスクリーンを徹底しています。令和2年度新たに収集することとなった、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として行っている利用者の健康チェックリストについても、保管のルールを徹底し、1か月を過ぎたものについてはシュレッダー処分を行っています。7月17日には、例年定期的に行っている個人情報保護研修及び確認テストを実施しました。

(2) 施設の利用状況

施設別利用者数及び利用率は以下のとおりです。

	指定管理者の成果目標	利用実績	達成率
年間施設利用者数	105,000人	60,997人	58.1%
施設利用率	85.0%	83.0%	97.6%
競技場(火曜日昼間)利用率	45.0%	50.0%	111.1%

2 利用料金の収入の実績

- ・利用料金収入は、11,341,360円(前年比54.7%)でした。
- ・令和3年3月31日までの利用料金については、すべて納入済です。
- ・利用料金の還付は2件、合計8,280円でした。

3 管理業務に関する経費の収支状況

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	H31(R1)	R2		H31(R1)	R2
指定管理料	40,040,000	41,997,974	事業費	4,507,784	2,315,645
利用料金収入	20,717,500	11,341,360	管理費	59,435,178	53,488,923
その他の収入	4,926,968	2,402,660	その他の支出	0	0
合計 (a)	65,684,468	55,741,994	合計 (b)	63,942,962	55,804,568
収支差額 (a)-(b)	1,741,506	△ 62,574			

※参考

利用料金減免額	0円
---------	----

4 成果目標とその実績

成果目標	年間施設利用者数 105,000人 施設利用率 85.0% 競技場(火曜日昼間)利用率 45.0% 事業計画書提案事項の履行率(%) 100.0% スタッフの接遇満足度(%) 90.0% 施設サービスの満足度(%) 90.0% 施設の総合的な満足度(%) 90.0%
成果目標に対する実績	年間施設利用者数 60,997人 施設利用率 83.0% 競技場(火曜日昼間)利用率 50.0% 事業計画書提案事項の履行率(%) 92.5% スタッフの接遇満足度(%) 100.0% 施設サービスの満足度(%) 97.7% 施設の総合的な満足度(%) 100.0%
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症は今後も施設運営に大きく影響を与えると予測されるため、感染予防対策を万全に行うなど、利用者の安全を最優先し、安心感のある施設運営を心掛けます。 ・令和3年度は指定管理最終年度として、基本事業計画で提案したが実施できていない事業を完遂するとともに、NPO法人や各団体と連携し、「25年のありがとう・ゆめドームうえのフェス」を開催します。 また、より施設を利用してもらうための取組として、火曜日の昼間について、ソフトバレーのイベント化と無料で参加できる卓球デイを開催します。 ・伊賀発祥の忍者スポーツ手裏輪の認知向上のため、「手裏輪大会」を令和2年度に引き続き開催します。

5 管理業務に関する自己評価

評価の項目	評価		コメント
	H31	R2	
1 管理業務の実施状況	B	B	新型コロナウイルス感染予防対策をガイドラインに則り実施し、安心安全な施設運営を行いました。第一、第二競技場の空調設備故障など、すぐに修理できないものに対しては、空調の代替策を実施し、利用者に不便をかけることなく対応しました。また、2021年の三重とこわか国体開催に向けて、内製化できる小規模修繕をリストアップし、費用をかけずにできる範囲の修繕を行い、維持管理に努めました。
2 施設の利用状況	B	C	新型コロナウイルス感染症の影響による予約のキャンセルや、利用自粛に伴い予約が減少し、利用者数、施設の稼働率に大きく影響ができました。しかし、大会のキャンセルで空いた施設の利用予約の穴埋め作業を行うことにより、利用者数は前年比51.0%となりましたが、稼働率は前年比91.1%で留まりました。
3 成果目標及びその実績	B	B	年間施設利用者数60,997人(105,000人)、施設利用率83.0%(85.0%)、競技場(火曜日昼間)利用率50.0%(45.0%)、事業計画書提案事項の履行率92.5%(100.0%)、スタッフの待遇満足度100.0%(90.0%)、施設サービスの満足度97.7%(90.0%)、施設の総合的な満足度100.0%(90.0%)で、利用者数、施設利用率、競技場(火曜日昼間)利用率が令和元年度実績を下回りましたが、利用者の満足度については待遇、サービス、総合的な満足度とも令和元年度以上に評価されました。 ※()の数値は目標値

※評価の項目「1」の評価
:

- 「A」→ 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 業務計画を順調に実施している。
「C」→ 業務計画を十分には実施できていない。
「D」→ 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。

※評価の項目「2」「3」の評価
:

- 「A」→ 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
「B」→ 当初の目標を達成している。
「C」→ 当初の目標を十分には達成できていない。
「D」→ 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。

総括的な評価	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防の対策に主眼を置いて、施設利用後の消毒作業や利用者の健康チェックなど、ガイドラインに沿った運営を行いました。自主事業についても、新型コロナウイルス感染症の影響で中止せざるをえないものも発生しましたが、24の事業を実施できました。また、学校の入試や民謡の発表会で施設が利用されるなど、利用者の隠れたニーズを掘り起こし、新しい多目的な施設利用方法の提案を行うことができました。稼働率や、利用者数が大きく減少する中で、施設アンケートの結果を見ると、利用者の満足度は、スタッフの待遇、施設サービス、総合的な満足度ともに、目標を達成しています。これは利用者に様々な制約を強いる中でも、安心安全に利用してもらえた結果だと考えます。
--------	---